



開校34周年

三小だより

令和6年1月9日 発行
＜1月号＞

江戸川区立南葛西第三小学校
校長 佐久間 貴広

新年あけましておめでとうございます

平凡な挨拶ですが、このような言葉を交わせることは、保護者や地域の皆さんのたくさんの支えがあるからだと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

人間は不思議なもので、カレンダーが1枚はがされるだけで、気持ちが変わってきます。新しい年を迎えるということは、自分を変えるチャンスがきたともいえると思います。この1年、一人一人の子供たちが、決意を胸に秘めて、夢の実現に向かって力を発揮してほしいです。

本物の目標

高学年になると、「いい高校へ進学したい」「将来は大学まで進みたい」というような目標をもつ子も出てくるようになります。その理由は、おおよそ2種類に分かれるように思います。ひとつは、「高校や大学に行ってこんな勉強がしたい」という具体的なもの。もう一つは、「高校くらい行かなければ」とか「みんなが行くから自分も」というもの。つまり、他人の目を意識したものです。

勉強することそのものに目が向いているのと、目が他人に向かっていて「友達が行くから自分も」と思って勉強するのでは、同じ勉強でも効果が違います。他人の目を通して認められたいために目標を持っている人は、他人の目を目標としているわけです。「他人の目を通して、自分の幸福を見るとはなんと哀れなことか」は、シェークスピアの言葉です。

しかし、私たちは多かれ少なかれ、この他人の目を気にしないではられません。そして、初めは「皆が行くから、私も行きたい」と思って勉強してみる。やっているうちに勉強の面白さが次第に分かってきたり、新たな世界や人との出会いから「これをやりたい」というものを見付けたりする人も少なくないと思います。だからこそ、とにかく何か「本物の目標」を見付けるつもりで、なんでも好き嫌いなく挑戦してみることが大切なのかもしれません。最初から嫌って手を付けない人は、自分が将来出会うかもしれない「本物の目標」に永久に出会えないことさえあるのです。

私はこれまでたくさんの人と出会い、様々な経験をする中で、成長し、人生を豊かにしてきました。これからも、これまで以上に素晴らしい人に出会い、胸が震えてやまないほどの経験ができるかもしれないのです。そう考えるとワクワクしてきます。「何をやっても大したことない」「いくらやってもたかが知れている」などと思い、自分の人生を空しいものにしてしまう…それではもったいないと思います。

昨年は、14年ぶりのWBC優勝の立役者としての活躍から始まり、ホームラン王や2度目の満票受賞となったMVP、全国の小学校へのグローブの寄贈、そして、1045億円という想像もつかない金額での移籍など、一年間をとおして話題となった大谷翔平選手。テレビ等で伝えられていることしか知らない私ですが、野球に向き合う姿勢は、まさに本物の目標をいつも考え、それを一つ一つクリアし、次のステップへ進んでいるように思います。世界で活躍する大谷選手のように、子供たちにも、本物の目標を目指して努力することで、充実した生き方を見付けてほしいと思います。



冬休み中に「大谷グローブ」が届きました♪

【持久走記録会】

体育主任 水原 涼

12月7日(木)、旧江戸川河川敷で持久走記録会を行いました。低学年は700m、中学年は1000m、高学年は1200mを走りました。

12月とは思えない暖かい日差しのもと、子供たちは、それぞれの目標に向かって最後まで一生懸命走ることができました。また、友達を応援したり、走り終わった後に励ましの言葉を掛けたりなど、心温まる場面が今年度数多く見受けられました。今後も子供たちに体力の向上や走る楽しさを感じてもらえるよう、日々の授業に取り組んでいきます。

今回も、持久走記録会を行うにあたって、沿道から保護者の皆様のたくさんの御声援が、子供たちの頑張りにつながりました。また、子供たちが安全に走れるよう、見守りのお手伝いに御協力していただき、ありがとうございました。



【専科授業の様子】

音楽専科 幡谷 有香

図画工作専科 小島 良貴

音楽・図画工作専科の授業は、3年生以上でそれぞれ行っています。いつもの教室とは違って、専門的な用具がそろった教室環境の中、どの子も意欲的に取り組んでいます。

4年生の音楽「ことのりよく」の学習では、楽器の仕組みや演奏方法を学び、「さくらさくら」の演奏に挑戦しました。はじめは自由に楽器を鳴らすことに夢中だった子供たちも姿勢や爪の当て方、手の動かし方を学ぶことで、曲を演奏する楽しさや音が合った時の一体感を味わうことができました。短い時間ではありましたが、日本の伝統的な音楽に親しむことができる貴重な時間となりました。

6年生の図画工作では、「生活に役立つもの」をテーマにそれぞれがアイディアを出し合い、思い出に残る「自分だけの作品」を計画的に作りました。形を想像し板を寸法どおりに切ったり、釘を正確に打ったり、蝶番を使ってふたや扉を丁寧に取り付けたり。どの作品もアイディア満載で使い勝手の良い素敵な作品に仕上がりました。



【1年生 生活科 保育園交流】

1年学年主任 小野寺 智子

生活科の時間に、近隣の保育園生を迎え、交流しました。今までたくさん上級生にお世話をしてもらったり、出前授業で学習したりしたことを生かし、保育園生と何をするか、子供たちと考えました。学校紹介をして、おりがみや魚つり、秋探しのおもちゃで遊びました。まつぼっくりけん玉やどんぐりマラカスは遊んだ後、プレゼントしました。無事終わり、「喜んでもらえて嬉しい!」「また、交流したい!」と、振り返りました。もうそろそろ2年生になります。新一年生にいろいろな教える良い経験になりました。

